

ペンリス・バレー地域は現代都市としての様々な利点を備えており、事業を始めるにも拡張するにも優れた候補地になります。市議会は、経済界、有力な学習組織、業界団体などと協力して積極活動を促すプログラムを編成し、ビジネスの成長と発展を支援することを目的とした独立機関 **Economic Development Corporation** を設立出資しました。

## 地理的利点

- ペンリス・バレーはシドニーの中央ビジネス地区から西へ54キロ、ブルーマウンテンの東麓にあり、シドニーからでもニューサウスウェールズ州西部からでもM4自動車道、州営鉄道、国道など交通は非常に便利であり、さらに南北方向にも道路網が整っています。今後ウェスタン・シドニー環状道路の建設が進めば大シドニー首都圏のみならず州間の道路交通網がさらに効率的になるはずで。
- わずか一世代の間に、ペンリスはかつての田舎町から外西シドニー圏第一の経済と地域の中心都市へと飛躍的な発展を遂げ、現在ではホークスベリー地域、ブルーマウンテン地域はもとより、ニューサウスウェールズ州中西部までを抑える要所として40万人の住民に奉仕しています。ことに小売りやサービス部門では、この広大な地域全域から大勢の人々がペンリス・バレーを訪れます。
- また最近では、域内にPanthers World of Entertainment、ペンリス湖、国際レガッタ・センター、ペンリス・ホワイトウォーター・スタジアム、ネピアン川水系などを抱えることからライフスタイル的な旅行先として大きく伸びています。



## リーダーシップの利点

- 市議会は戦略的なビジョンとして、都会と田園部の双方の質を積極的に調和させた繁栄する地域として発展し、環境保護から一步進んで環境改善へと向かう熱意を、都会と田園部の質の調和に結びつけようとしています。
- 市議会は経済的な活動として、経済界、業界団体、教育機関と協力して活動を進め、技能開発と企業開発を目的とした様々な活動や、また雇用促進用地、インフラストラクチャー、関連ビジネス・サービスなどの基盤を築くことで雇用創出とこの地域への投資を最大限まで推し進める努力を続けています。
- 市議会の経済開発部は、マネージャーに率いられた熱心なスタッフ・チームが市の経済開発政策推進を担当しています。最近法人化されたばかりのペンリス・バレー・エコノミック・デベロップメント・コーポレーションは、独立した理事会が指揮権を握り、ペンリス・バレーの企業支援と経済開発の中心的な推進力になっています。市議会では、今後10年間コーポレーションの活動に出資することを確約しています。
- 市議会が主導して主要業界団体や教育機関のリーダーたちと運営する活動的なパートナーシップ・プログラムは、今後も協力関係を拡大し、ペンリス・バレーの経済開発の合同活動のための資源を最大限に活用する意志を固めています。

## 人材の利点

- ペンリスの人口は172,000人を少し超え、若年労働者人口が比較的多く、また住民の出身文化がますます多様化する傾向にあります。
- ペンリス住民の特徴は、世帯平均の可処分所得が非常に高いことです。前回行われた2001年国勢調査までの数年の間にもかなりの所得増加がありました。この上昇傾向は今後も続き、地元のモノとサービスのビジネスにとっては活気にあふれ、利益性の高い現在の市場を維持することでしょう。
- ペンリスの労働力は一般に高技能であり、労働者数そのものも全職種で増えていますが、なかでも経営・管理職、準専門職、職人、中級事務職、販売、サービスなどの部門で増加率がもっとも高くなっています。
- ペンリスでは私立初等中等教育に入学する率が増えており、同時に大学その他の高等教育への進学率も伸びています。過去10年間でfirst degree、advanced diploma、diploma、certificate課程への入学がめざましく増えました。

### ペンリス市の主なビジネス・雇用部門

- 小売り・卸売り商業
- 製造
- 社会事業
- 観光
- 建設
- 保健・教育
- 金融、不動産、ビジネス・サービス



**PENRITH  
VALLEY**

River Mountains Lakes

## ビジネスの利点

- ペンリス・バレーのビジネス界の実績は、中小企業をバックボーンとする幅広い業種の地元経済を推進力としています。その特色として建設、製造、小売り、観光、金融、不動産、ビジネス・サービス、教育などが強い成長ぶりを示しており、同時に歴史的に教育と保健医療分野の研究で優れた実績があることが指摘できます。
- ペンリスに社屋を築く国内国外の企業が増えており、いくつか例を挙げるだけでも Panasonic、BHP Steel Frame Housing、Finemores Transport、3M、Panthers World of Entertainment、ACI Glass、JI Case、Smorgon ARC、Plasser Australi、Crane Enfield、Sun Masamune Sake Winery などがあります。また、ペンリス在住の企業には、競争激しいウェスタン・シドニー産業大賞でグローバル・エクセレンス、革新、観光、輸出、アグリビジネスなどの部門を受賞した企業がいくつかあります。
- 古い工業団地を改修し、ビジネスを革新することは、産業地区には当然の風景です。地元の潜在的なサプライ・チェーンが成長してきており、さらに力を付ければ、企業も地元の事業でより優れた費用効果を生むことができるようになります。
- アースキン・パーク、セント・メアリーズの元オーストラリア防衛産業跡地、ペンリス湖、ノース・ペンリス、ウェリントン・シグナルなどの雇用促進用地は、ホーム・オフィス型のナレッジ・ビジネスなども含む産業界が必要としている低廉な価格の産業用地・商業用地の短期中期的な需要を満たすことができます。
- 当市には、ウェスタン・シドニー大学、TAFE、シドニー大学ネピアン付属病院その他の訓練養成機関があり、そのような機関が後ろ盾となって、今後も革新的な優れた教育の中心地として成長を続けることでしょう。

- 当市は、姉妹都市提携を通して国際的な結びつきを築いており、企業同士の直接的な結びつきを深め、ことに東アジア市場での貿易企業や商業関係企業の事業チャンスを発展強化させていくことでしょう。

## 事業認可手続き

開発許認可官庁である市議会は、企業にとって迅速な処理が何よりも重要であることをよく承知しています。一般的な開発許可申請であれば28日以内に評価を終わらせ、開発・建設許可申請を迅速に審査する特別な制度もあります。その他の手続き迅速化の一環として市議会では、建築業者からの開発許可申請をインターネットで受理するシステムも開発しました。

市議会では、開発申請者が開発許可申請を提出する前に市議会と話し合い、場合によっては市議会から書面によるアドバイスを求めるよう勧めています。そのため、計画その他に関する要求基準について、申請者に指導と助言を与える経験と知識を備えたプランニング担当職員を配置して企業への窓口としています。



## ペンリス統計

面積 407 平方キロ	夏季平均気温 摂氏 16-30 度	人口 172,397 人	工業団地 Emu Plains, North Penrith, South Penrith, Dunheved, Erskine Park and ADI – St Marys
年平均降水量 784 ミリ	冬季平均気温 摂氏 3-17 度	労働力 97,000 人	



ペンリス・バレー資料請求問い合わせ先  
Local Economic Development Program Manager

Tel: +61 2 4732 7545

Fax: +61 2 4732 7958

Email: [pencit@penrithcity.nsw.gov.au](mailto:pencit@penrithcity.nsw.gov.au)

Web: [www.penrithvalley.com.au](http://www.penrithvalley.com.au)



**PENRITH  
VALLEY**

River Mountains Lakes